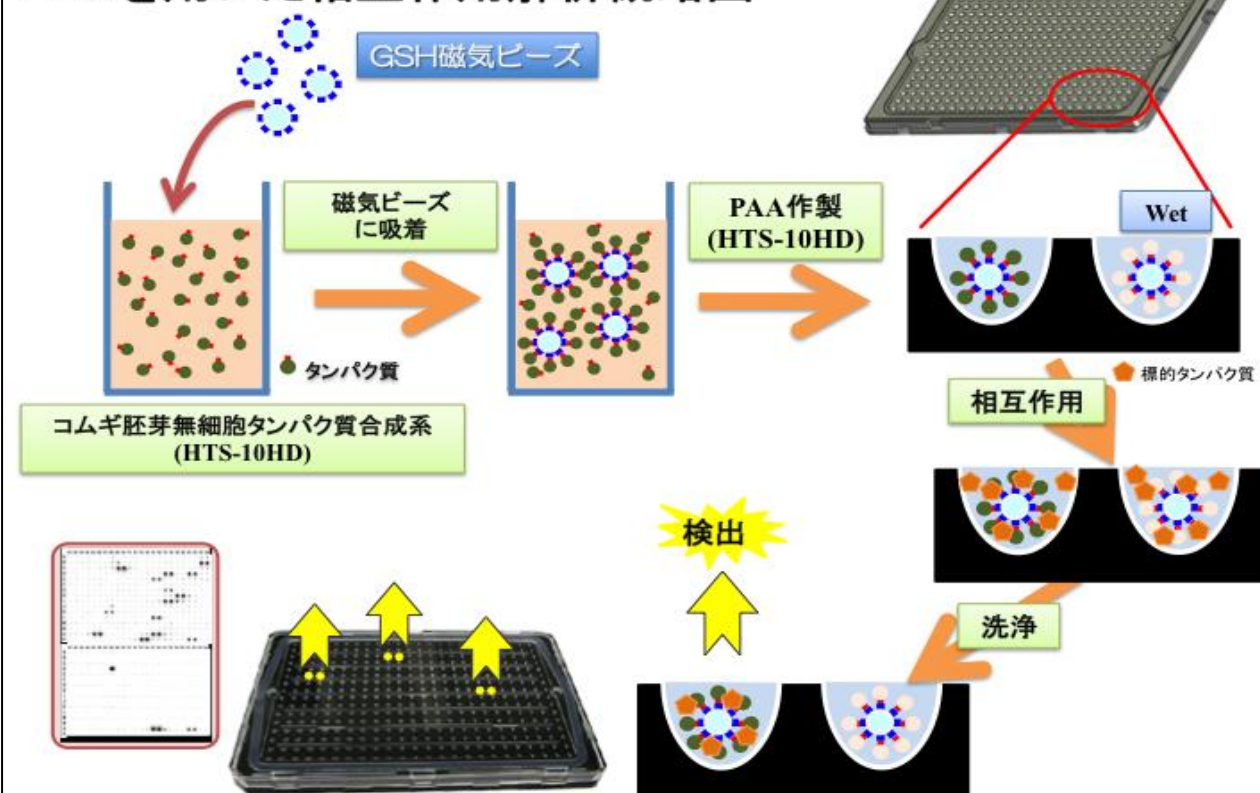


# コムギ胚芽無細胞合成系を活用した 新規複合体調製／検出技術開発

## [技術の概要]

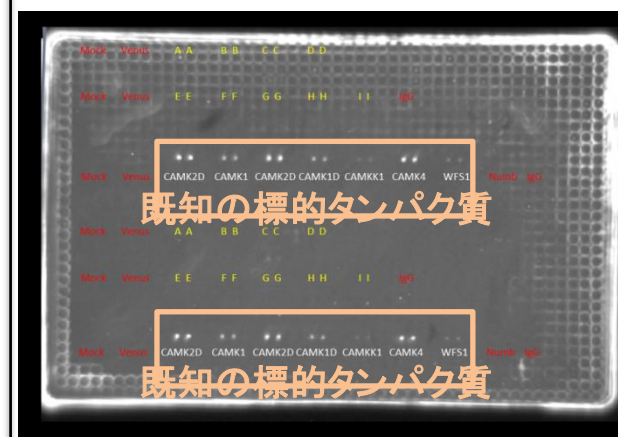
- ・自社独自製作の非変性条件でタンパク質を固定化したプレート(1,536 / プレート)を使用したタンパク質間相互作用検出
- ・約20,000個のヒト遺伝子タンパク質発現
- ・リソースとコムギ無細胞系を利用した網羅的なタンパク質発現プレート

### PAAを用いた相互作用解析概略図



## [技術の利用例]

- ・20,000タンパク質との相互作用解析
- ・特定タンパク質群との相互作用解析
- ・アレイ化(固定)せずに液相での精製相互作用解析についても可能



既知の標的分子を搭載したアレイによる相互作用検出例  
カルモジュリン(CaM)とその標的分子の特異的な結合が検出された

## 連絡先

[所属] 株式会社セルフリーサイエンス

[名前] 森下 了

[E-mail] [rmorishita@cfsciences.com](mailto:rmorishita@cfsciences.com)